



ちゅうりっぷ組だより 3月号



平成29年3月17日 ことり保育園 担当: 益子

まだまだ気温差が激しいですが、道端には草花が咲き始め、春を感じられます。



毎日元気いっぱい、のちゅうりっぷ組のお友だちですが、最近“待つ”“お話を聞く”という習慣が少しずう身についてきました。

例えば、遊びの前に「おかべぺたんしようね」と話をする。みんな壁まで行き、座れるようになりました。そして玩具を出してから10まで数え、気持ちと落ち着かせてから遊んでいます。保育者が数えるところを聞いて一糸に手を叩きながら数え、座ってゆくりとした雰囲気の中で過ごしています。

小さい月齢の子も一緒になって手を叩く姿は微笑ましいです。

遊びの中で楽しい気持ちが溢れ、室内を走ったり、玩具を投げたり、走ったり友だちを押してしまったりする姿も見られますがその都度一人ひとりに合った声掛けをしています。

先日のことです。室内で友だちが転んでしまい泣いていました。すると、すぐ近くにいた女の子が「大丈夫？」と心配そうに顔を覗き込んでいました。また、ある男の子は、ぶつかっては、た友だちに対して頭を撫でながら「ごめんね」と話す姿が見られました。相手の様子に気づき、思いやる気持ちを持っている子ども達も輝いて見えました。



振り返ると一年があっという間に過ぎていきました。

保護者の方からの家庭でのエピソードを聞いて成長を感じ、日々の生活で子ども達とたくさん遊び、毎日笑顔いっぱい、のクラスでした。成長のお手伝いが出来たこととても嬉しく思います。

これからもさまざまな表情や育ちを見せてくれることを楽しみにしています。

一年間 ご理解・ご協力いただきありがとうございました。